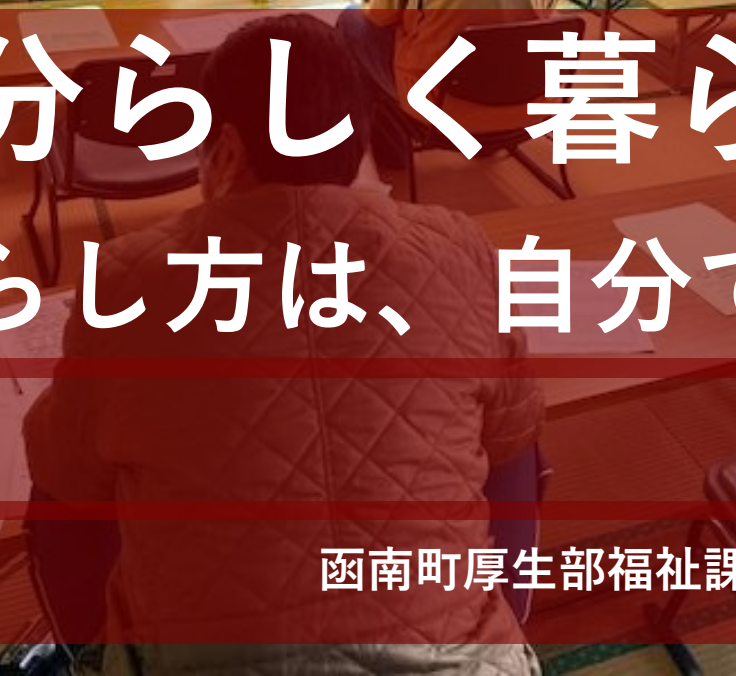




地域で自分らしく暮らすには？

～これからの暮らし方は、自分で考えていこう～




2022/8/8 SCカフェ資料

函南町厚生部福祉課 / 社会福祉法人函南町社会福祉協議会

今日のお話・自分らしく暮らすための「移動」

生活支援コーディネーター事業との関連もありつつ立ち上がった移動支援
→住民自身のアイデアや、地域力が活きるしくみ

名 称	実施主体	し く み	備 考
① かなみおでかけサポート 	函南町社会福祉協議会	運転・同乗ボランティア協力による居場所への送迎	訪問型サービスD、通所型サービスBを活用
② ダイヤランド暮らしの応援隊	住民グループ	住民ボランティアによる生活支援の一環として移動支援も実施	訪問型サービスBを活用予定
③ パサディナ区福祉自動車	函南パサディナ区	自治会の活動として位置づけられた移動支援	自治会費や函南町自主運行バス等運行事業費補助金等を活用
④ 会員登録制デマンドタクシー (桑原区・奴田場区)	函南町	交通空白地を対象とした高齢者施策の一つとしてR3試験運行、R4実証運行	保険者機能強化推進交付金の活用

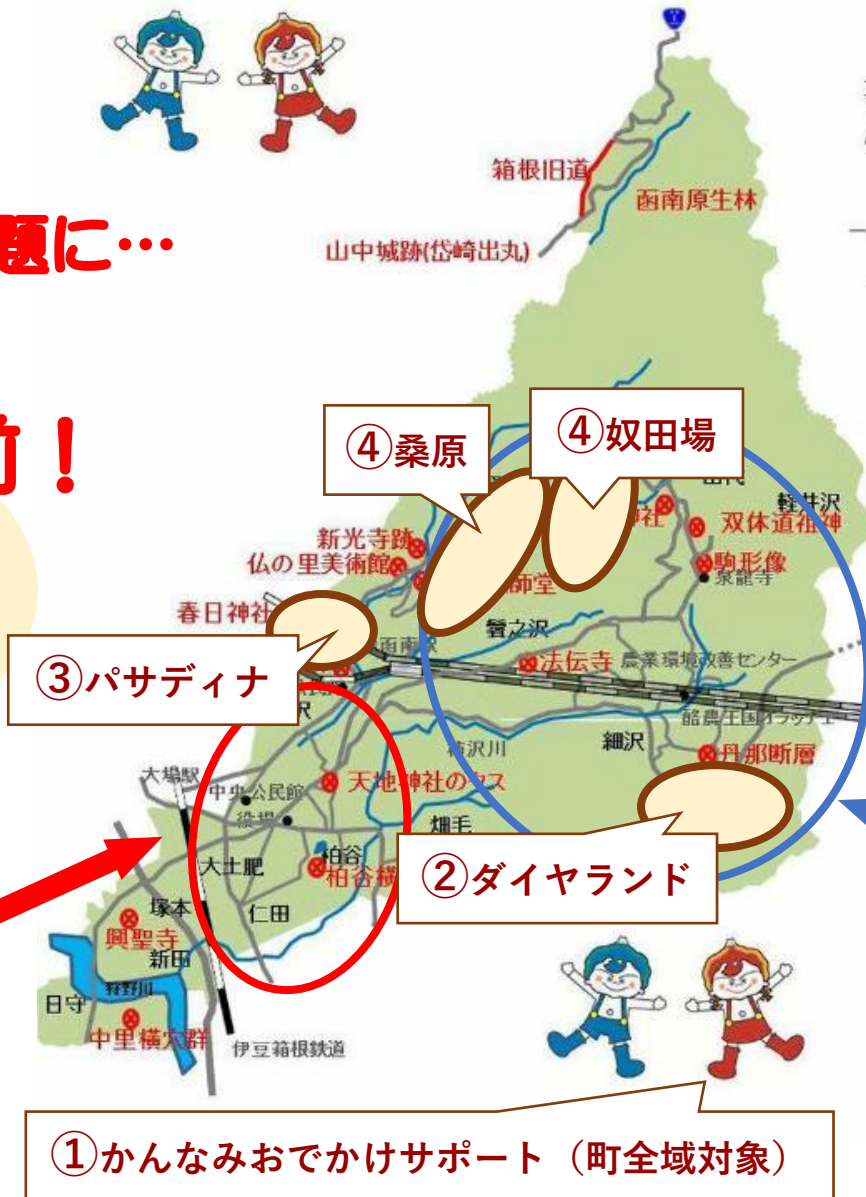
函南町の特徴と地域課題への取組み

住民アンケートでも、
勉強会でも“移動”はいつも課題に…

マイカー移動が当たり前！
移動の大変さは
山間地だけの
問題ではない

人口が集中するエリア
(約30,000人) 約80%

① かなみおでかけサポート (町全域対象)



全体の人口
37,165人
高齢化率32.22%
(2022年5月末)

別荘地を含む
山間地エリア
(約3,000人)
約9%



協議体（名称:地域の支えあい協議会）

これまでの検討テーマ

- ①地域の見守り支援体制
- ②移動支援
- ③人財活用(2019～)
- ④住民・専門職の意識変容(2021～)
- ⑤複合課題を抱える世帯への支援(2021～)

(住民)
“自分ごと実感”

テーマごと、参加メンバーは入替制（下線は常に参加）

住民（ボランティア活動者、民生委員、当事者）

配食サービス事業者、コンビニエンスストア、ガス事業者、新聞配達事業者、
障害福祉サービス事業者、警察、消防、郵便局、社会福祉法人（特養）、
宅建協会、ハローワーク、シルバー人材センター、ジョブステーション

行政（福祉課、企画財政課:コミュニティ担当、総務課:公共交通担当）

地域包括支援センター、社会福祉協議会、SC 等々

身体的効果
(身体活動の増加)



+

認知的効果
(情報交換・学習)

+



心理的效果
(安心・やる気)



「社会参加」は「運動」や「栄養」と同じく、健康長寿に効果があります

函南町は、介護予防と支え合いの拠点となる、住民が運営する「居場所」を増やし、社会参加を促進することに力を入れています。

居場所が人をつなぐ!?! アンケートから見えてきた。

出かけるのが
大変になってきた

家事が大変…
特に
ゴミ出し
布団干し
困ったなあ



ひとり暮らし

自宅の近くで
安くて気軽に利用
できる「居場所」

まあまあ健康な方



趣味やスポーツが
身近なところで
出来たらいいな!

居場所には
幅広く集まることができる
・生活ニーズが高いひとり暮らし
・健康～まあまあ健康な方

生活ニーズが高いのは、
・外出 ・ゴミ出し ・布団干し
“お互いさま”として、健康～まあまあ健康な人が手を貸してくれる支えあい

人が集まる場所
→地域の企業や商店にとっても
PRの場として活用できる?

困りごとの当事者も
参加します。

(住民)
傍観しない！
そこが肝！

玄関前が階段…
買物に行った後
重くて持って
帰れない。

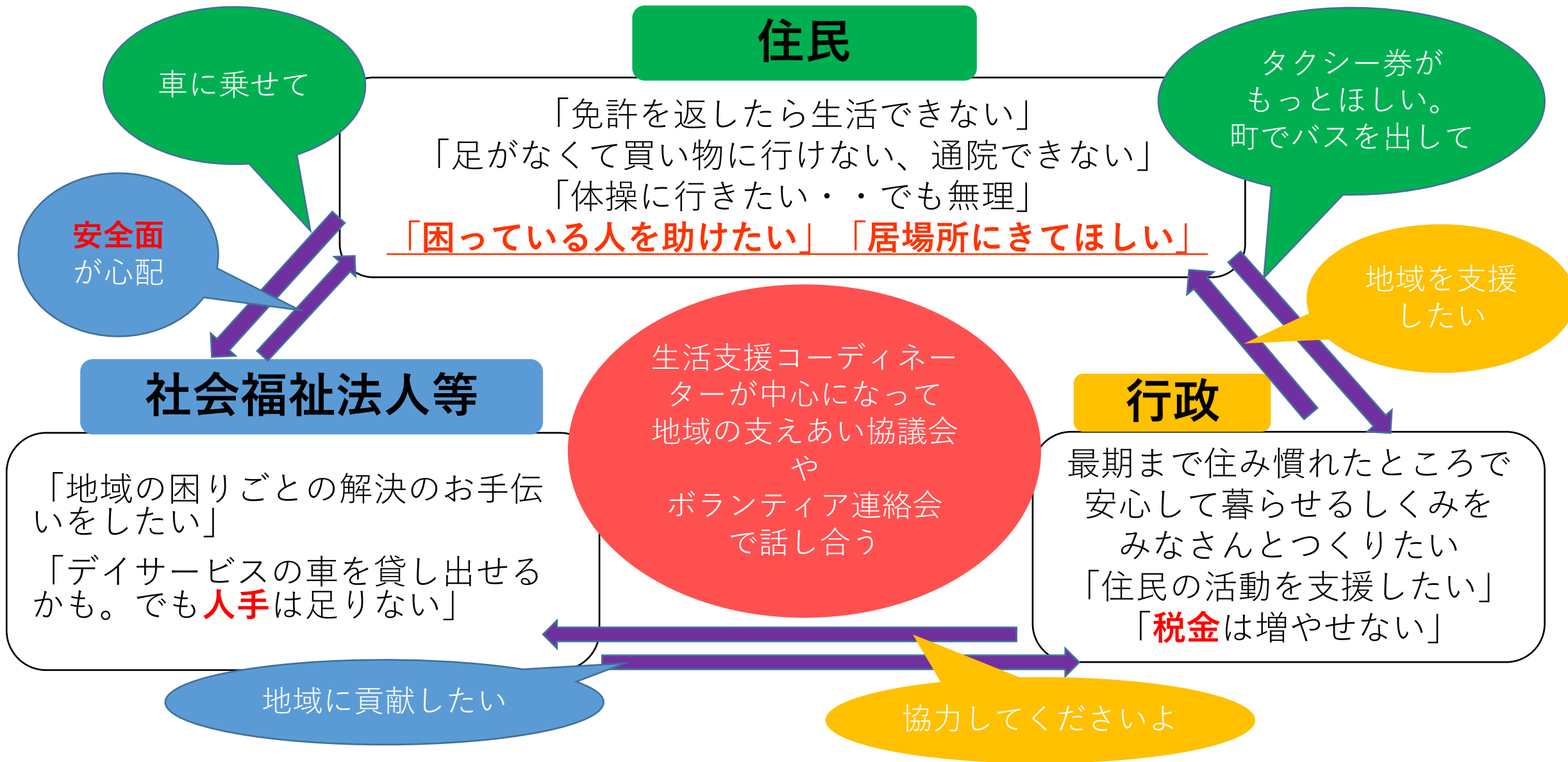


介護認定が
非該当になって
ヘルパーが
使えない。



近所の人
がタクシーで
買い物に行
ってる。
言ってくれ
れば乗せて
いくのに。

移動支援のしくみをつくるためのそれぞれの思い



① かなみおでかけサポート

(行政&SC)
制度&しくみ
づくりへ

かなみおでかけサポート は
生活支援コーディネーター設置事業(町→社協委託)と二人三脚。

【2018年 7月】 運転ボランティア養成講座(SC事業)

修了者14名 (登録者14名)

【2018年 7月～】 ボランティア連絡会の開催

修了者14名とSC、行政と一緒に事業内容を検討

【2018年10月】 **かなみおでかけサポート試験運行開始**

週2回の運行から開始 (火・木)

(社協事業)

* 2022年1月時点 週5回 (月～金)

地域の移動・外出を支える交通手段

道路運送法

許可

バス

路線バス・コミュニティバス・デマンドバス

運賃OK

タクシー

一般タクシー・介護タクシー・デマンドタクシー

自家用有償旅客運送 2006～

非営利の範囲で運賃OK

登録

- ①市町村運営有償運送（交通空白・福祉）・・・路線バスの撤退などで市町村が自ら運営して（委託で）行う
- ②公共交通空白地有償運送・・・タクシーが営業しない地域などで**住民全体を対象**にNPO等が行う。運営協議会で検討プロセス ガイドライン化
- ③福祉有償運送・・・障害者手帳保持者・要介護要支援認定者（基本チェックリスト該当）透析患者等を対象にNPO等が行う。**一般の高齢者は不可**

互助活動

許可・登録の手続きが不要な運送

(行政)
国土交通省 運輸局
静岡支局に確認！

まちづくりの観点から住民が互助の精神でつくる移動・外出手段

移動支援を始めるにあたり…

(住民・行政・SC)
三者が共有！

●対象・目的

誰に対して
何を目的に
行うのか
はっきり
させる

(行政・SC)
作成時からの
すり合わせ

●しくみ

要綱の作成
段階から運輸
支局へ相談

* 函南町移動支援事業費
補助事業

* 社会福祉法人函南町社会福祉
協議会移動支援サービス事業
実施要綱

(行政)
庁内連携
関係者への説明

●地域公共交通会議

バス・タクシー
事業者、運輸支局
も参加する会議
での説明

かなみおでかけサポートのしくみ (月～金運行/1台で運行中：2022年7月時点)

活動概要

高齢者等の居場所への参加を移動の面でサポートすることで、地域での自立した暮らしの継続を目的とした住民による会員制・有償の支えあい活動

ボランティアの役割

運転ボラ：車両の運転担当
同乗ボラ：

バックの際の安全確認
利用会員の対応等
(踏み台設置・荷物持ち等)

【共通】居場所での参加支援
→謝礼200円/回は↑に対するもの

社協の役割

会員登録、運行調整 (送迎時間調整、ボラ活動シフト作成等)
ボラ養成、フォローアップ研修
ボラ連絡会の開催等

運営費

町総合事業による補助金
共同募金配分金
県社協助成金等を活用

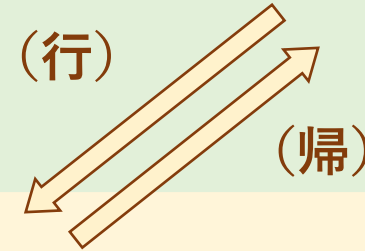
① 社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発 使用する車両:社協車両



必ず運転・同乗ボラ 2 名体制で運行
(目的：安全に運行いただくため)

* 町総合事業補助対象 (自宅⇄居場所)

② 利用会員の乗車場所をまわる 移動に対する料金は無料



③ 居場所に参加!



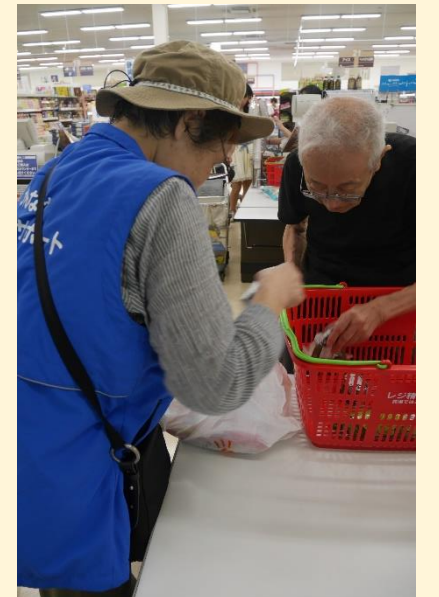
各曜日ごと利用会員を居場所 (2ヶ所) へ送迎
居場所では、体操をしたりお茶をのんだり…
自分のしたいことを**選択**する



選択肢のひとつ 買い物に行こう!

毎日の食料雑貨の買い物にお困りの方向けに運行調整

希望者は居場所からスーパーへ
お買い物後は、再度居場所へ戻り合流



介護予防・日常生活支援総合事業 訪問型サービスD (函南町移動支援事業費補助事業)

利用対象者	町内在住の在宅生活者かつ要支援1又は要支援2又は事業対象者でケアマネジメントにおいて居場所へ送迎が必要とされた人が過半数であれば、他に誰が乗車しても案分せず補助が可能
実施主体	居場所を運営する団体とは別の団体
実施方法	自宅等から居場所への送迎に対する補助
補助対象経費	利用調整をする人の人件費 (ボランティアの人件費は含まない) 、燃料費、通信費、運転台帳等の印刷製本費及び消耗品費、車両リース代、車両の任意保険料
補助限度額	1日1台4,000円
周知活動	地域包括支援センター、地域ケア会議、ケアマネ連絡会、広報等

町担当者と生活支援コーディネーター(SC)の役割分担

(函南町は社会福祉協議会に委託)

【町担当者1人】

【第1層生活支援コーディネーター1人】

①介護保険事業計画に基づき、SCと相談し次年度の予算をつくる。

★SCの人件費以外に運転ボランティア養成講座（全国移動サービスネットワーク）委託料等も含める。

②年度初めに仕様書に基づき、SCと相談し年間計画を立てる。

毎月1回町担当者とSCの連絡会開催

★予算に合わせて、ボランティア養成講座やイベント等、SCと企画。

③民間企業等と最初のコンタクト、外部との調整

④庁内連携（公共交通担当課・コミュニティ担当課）

⑤町と協定締結等町民にPRする。広報掲載。

⑥イベント挨拶、イベント会場確保の協力

⑦SCの外部への事例発表に参加

①仕様書に示された業務を遂行する。

②実績報告として日誌を作成し、毎月1回の連絡で進捗を町に報告・相談する。

③ニーズ調査（聞き取り、訪問）

④地域の支えあい勉強会、地域の支えあい協議会やボランティア連絡会等の進行、町担当者にイベントの日程を調整、会場確保の相談

⑤関係機関へ訪問し相談

⑥事業の役割分担・準備やスケジュールを町担当と確認

⑦ボランティア養成研修の参加者募集

⑧PRチラシやポスター作成、広報原稿作成・確認

⑨SC研修会やイベントに参加し情報入手

町担当者と生活支援コーディネーターが、町民と町長をつないでいる

地域の人財発掘の例

今までにはない仲間ができ
運転ボランティアなどの
地域活動へ幅を広げていく

住民

住民

きっかけをムダにせず
まずは自分が楽しめる
ことに参加！



男性料理教室

SC

男性料理教室や
コミュニティ農園など、
関連事業参加者へ
直接講座案内

(SC)
趣旨が直接
説明できる

行政

65歳になった方へ
お送りする介護保険証に
募集案内を同封

(行政)
募集層が
明確



コミュニティ農園

居場所送迎
の
目的地

社協運営の居場所
→通所B



いこう家つかもと（2022年1月末閉鎖）
* 次年度新しい居場所を作るため準備中

別主体運営の居場所
→訪問D



カフェ城山（じょうやま）
自宅開放・毎週月～木、土（週5日）
* 参加費200円 10:00～16:00

総合事業を活用することで
見えてきたことが…

移動のしくみを活用できない、多様な要因を抱えた人がいる



認知症の方



情報に触れていない



足腰が不安



主たる介護者のため
時間に余裕がない



移動経費の負担感

おでかけを諦めがちの方… 外出へのハードルが上がる経験をされていることも多い

予定を忘れて
相手を怒らせた

知らなかった
ことで孤立した

他の人より
動きが遅い

被介護者を残して
外出するのは心配

必要最低限の
外出でガマン

おでかけとネガティブな経験が結び付く… おでかけする気力の低下にもつながる

作ったはいいけれど…
「予定を忘れる」
「支度ができない」
その方は利用
できなくてもいい？



何故
かなみおでかけサポートを
作ったのか？
→ 地域での自立した
暮らしを継続するため

おでかけサポート・居場所
それぞれの場面で、
ポジティブな経験への
サポートが必要だ！



かなみおでかけサポートで続けている、小さな心遣いの一例



①社協職員との情報共有・点検や消毒後の出発

の、前に

必要な方へ、 毎回の電話連絡

- ・外出予定のお知らせ
- ・支度の促し

ポジティブな経験の例

- ・外出に向けて余裕をもって支度ができる
- ・「待たせてごめんなさい」という気持ちを持たずに済む
- ・1週間の生活リズムが整う



②利用会員の乗車場所をまわる

その時に

外出時に手荷物・ 服装の様子を さりげなく確認

- ・「カギがない！」等不穏になられた際にお声がけ

- ・不安な気持ちを持たずに済む
- ・ご本人が安心して外出できることで、送り出すご家族も余裕が生まれる



居場所についての選択肢
買い物に行こう！

その時に

買い物希望の方に、 店舗での つかず離れずフォロー

- ・商品の場所のお知らせ
- ・時間管理など

- ・つかず離れず、必要に応じたフォローに徹することで、自由な買い物時間を楽しむことができる
- ・声掛けすることで時間を守れるため、他の方にも気兼ねせずに済む

運営継続のために大事なこと

①連絡会での情報共有・課題抽出

自分ごととして活動を捉えて
いただく配慮。
意思疎通の場。

行政

SC

ボラ

(行政・SC)
養成後に住民へ
“後はよろしく”
としない



(住民)
フォローアップ
研修で
年に1度は
初心にかえる！



②良い緊張感の維持

なぜ、この活動をやるのか。
なぜ、フォローアップ研修が
必要なのか意識する。

運営継続のために大事なこと②

③車両の安全性

可能な限り、車両自体の安全性を高めるよう努める。

- ・ドライブレコーダー
- ・バックモニター
- ・自動ブレーキシステム 等

④コロナウイルス等感染症対策

車両の清掃、消毒作業
利用会員・ボランティアの検温、
体調チェック
運行の都度記録を残す

⑤運営費の確保

町の移動支援事業費補助金
共同募金配分金の活用。

⑥ボランティアへの謝礼

有償か無償か。
立上げメンバーだけのしくみ
ではなく、先々加入する新しい
ボランティアの方にも長く
活動していただきたい。

②ダイヤランド暮らしの応援隊

ことの起こりは2019年度…

民生委員としての気付き

「ちょっとした暮らしの困りごと」に触れる日々
ゴミ出しに困っている
庭の草取りも一人では大変になってきたなど

×

住民として体感している 地域性

山間地に別荘地として開発された地域



生活支援コーディネーターへの相談につながる



発起人

現役の民生委員児童委員

郷 千恵子さん

ダイヤランド暮らしの応援隊 は 生活支援コーディネーター設置事業と二人三脚。

【2019年 8月】 区長や民生委員の方を対象としたWS開催

中心となる民生委員が参加

「地域の支えあい勉強会で、仲間づくりをはじめましょう」

*別荘地ならではの住民組織「区民の会」・「サービスセンター」との
連携協働を意識して始める

【民生委員 発案 & 関係者との交渉 & 実行！】

区内の住民向けアンケートを実施

【2019年 11月】 生活支援ボランティア 養成講座

民生委員がまずは参加し、取組みをまなぶ





【2020年 1月】初めての地域の支えあい勉強会

区民向けアンケートの結果

「協力したい」という気持ちのある方が集合

<最初から一貫して話し続けていること>

どのようなことなら、ムリなく始められるか？
ダイヤモンドでは何が必要とされているか？



まずは
動いてみよう
じゃないの



【2020年 4月】

「かなみ暮らしの応援隊」の

(対象範囲：町全体)

協力会員としてまずは活動スタート

【2020年 7月】ダイヤランド向け 生活支援ボランティア養成講座

まなびと並行して
勉強会による検討、そして実践。



実践から見えてきたこと

通院や買い物のアシに
関する要望が多いのに、
どうしたらいいのかな…



<最初から一貫して話し続けていること>

どのようなことなら、ムリなく始められるか？

ダイヤモンドでは何が必要とされているか？



【2021年 11月】 運転ボランティア養成講座の受講

移動支援はリスクもあってハードルも高いし…とりあえず知識を得てみようというノリで参加から火が付いた！



**2022年 4月予定の
団体自主運営化に併せて
移動支援にも
取り組めばいいじゃない！**

2022年 4月：ダイヤランド隊の自主運営スタート

総合事業も活用→訪問B

やる気としくみがかみ合ってきた



支援内容

- ① 日常的な家周りの手入れ(草取り)のお手伝い
- ② 話し相手・散歩の付き添い・ゴミ出しのお手伝い
- ③ 医療機関・薬局などにおける薬の受け取りのお手伝い
- ④ 生活必需品の買い物のお手伝い
- ⑤ 洗濯・日干し(取り込み・整理)のお手伝い
- ⑥ 軽微な修繕(電球交換等)のお手伝い
- ⑦ 寝具交換・布団干し・掃除のお手伝い
- ⑧ 調理のお手伝い
- ⑨ **買い物や通院等に同行する移動支援(協力会員の車に利用会員が同乗)**
- ⑩ その他 応相談

右記の主な事例でも、利用会員の体調・天候等によりお引き受けできない場合があります。

* 利用可能な公的サービスの活用を優先していただきます。

* 金融機関における入出金の代行には対応できません。(付き添いは可)

* 大がかりな庭の手入れ、大掃除・高級品洗濯等の通常専門業者が行うサービスには対応できません。

* 対面支援を原則とするため、留守宅での作業やペットの散歩等には対応できません。

【移動支援利用の場合】

* 運転できない状況(免許証返納・車がない等)にあり、乗降は原則としてご自身で可能な方を対象とします。

* 移動範囲は町内及び片道30分程の隣接する地域の施設や医療機関を基本とします。

この地で共に住むご縁を大切に
ダイヤランド 暮らしの応援隊

ダイヤランド 暮らしの応援隊は
"ちょっとした困り事" 解消をお手伝い!!

お互いさまりの気持ちで暮らしをサポート
【暮らしの応援隊】はご高齢・障害のある方の日々の"ちょっとした困り事" 解消をお手伝いし、生活の負担を軽減していただくためのサービスです。

お電話ください
070-7584-2022 地域の応援メンバーによる暮らしのサポートをご利用ください。

1 日常生活の困り事(草取り等) 2 話し相手・散歩の付き添い・ゴミ出しのお手伝い 3 医療機関・薬局などにおける薬の受け取りのお手伝い 4 生活必需品の買い物のお手伝い 5 洗濯・日干し(取り込み・整理)のお手伝い 6 軽微な修繕(電球交換等)のお手伝い 7 寝具交換・布団干し・掃除のお手伝い 8 調理のお手伝い 9 買い物や通院等に同行する移動支援 10 その他、応相談

ダイヤランド 暮らしの応援隊事務局 070-7584-2022

地域の応援メンバーによる暮らしのサポートをご利用ください。

ご利用の流れ

- 1 電話連絡
070-7584-2022
- 2 利用会員登録
- 3 チケットを購入
- 4 支援の申込み
- 5 応援隊を紹介
(地域センター・福祉センター)
- 6 お手伝い活動の実施
- 7 チケットの受け渡し

料金概要
10分 100円

支払方法
事前に購入しているチケットで支払い
30分以内1枚 -3,000円
100分以内2枚 -2,000円

活動時間
月～土曜日 9:00～17:00
※雨天・雪天・悪天候(天候不慮)は中止
※日・8時・年末年始は除く

利用の留意事項
1,000円/年度(4月以降)

支援内容

- ① 日常生活の困り事(草取り)のお手伝い
- ② 話し相手・散歩の付き添い・ゴミ出しのお手伝い
- ③ 医療機関・薬局などにおける薬の受け取りのお手伝い
- ④ 生活必需品の買い物のお手伝い
- ⑤ 洗濯・日干し(取り込み・整理)のお手伝い
- ⑥ 軽微な修繕(電球交換等)のお手伝い
- ⑦ 寝具交換・布団干し・掃除のお手伝い
- ⑧ 調理のお手伝い
- ⑨ 買い物や通院等に同行する移動支援(協力会員の車に利用会員が同乗)
- ⑩ その他 応相談

ダイヤランド 暮らしの応援隊
活動理念
この活動は、利用会員の自立を支援する町内の人々の協力を得て行われる活動です。

支援活動に参加していただける応援メンバーを募集しています。
【活動費】500円/年費
申込先: 070-7584-2022 (内線)

③パサディナ区による 福祉自動車「パサディナ号」の運行

【2019年 8月】 パサディナ区による移動支援の開始



「パサディナ号」
と呼んでいます！

名 称

高齢者福祉交通システム

* 自治会による自主運行

運行状況

火・金の週2回

6のつく日 (さて、何ででしょうか!?)

函南町の公共交通機関

交通機関	事業者・路線
鉄道	JR（函南駅）伊豆箱根鉄道（仁田駅）
路線バス	伊豆箱根バス（函南駅～畑毛温泉、大場駅～函南駅）
自主運行バス	ダイヤランド南箱根巡回バス
タクシー	函南タクシー、風、伊豆箱根鉄道
自主運行タクシー	丹那区自主運行タクシー
福祉有償運送	NPO法人シーディーシー
その他送迎バス	函南中学校 伊豆函南病院及び伊豆平和病院 湯～トピアかなみ

自分も、運転をやめるときがくる。



立上げ当時の区長
小俣さん

区長だからこそ見えてくること
一人暮らしや高齢者のみ世帯が増えているなど

×

住民として体感している 地域性

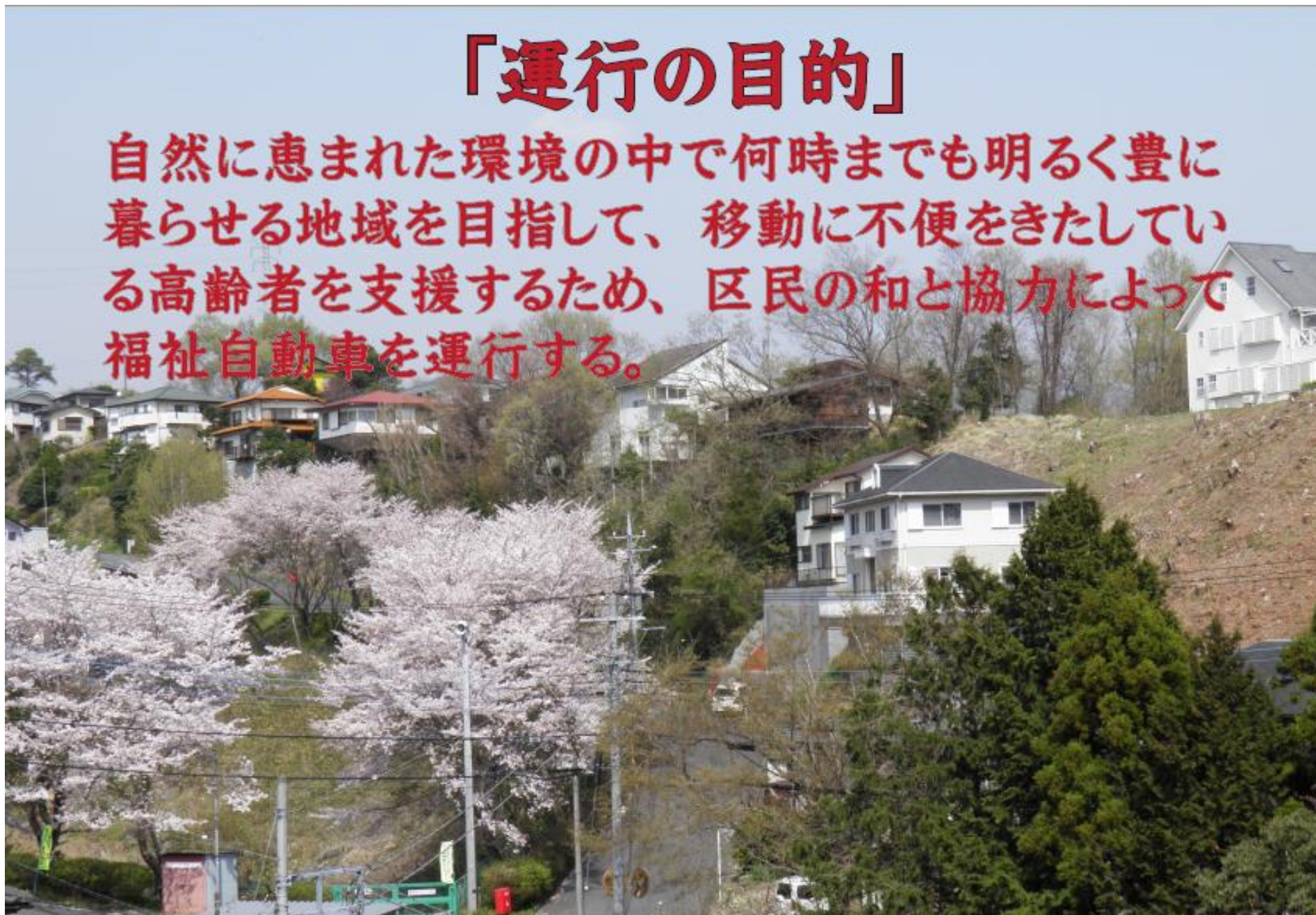
中山間地に開発された分譲地
山坂が多く、歩いて中心街へ行けない



自治会として、自分たちの移動について
真剣に考える必要があるのでは？

「運行の目的」

自然に恵まれた環境の中で何時までも明るく豊に暮らせる地域を目指して、移動に不便をきたしている高齢者を支援するため、区民の和と協力によって福祉自動車を運行する。



* 2021年12月22日函南町・函南町社協主催「これからの暮らし方と移動方法について考えるフォーラム」パサディナ区発表資料より

区内の調整、関係者との調整を丁寧に。

「立上げ経緯」(1)

- (1) 平成30年3月、区総会に於いて「高齢者交通システム」を開発することが承認された。
- (2) 平成30年6月、アンケート調査を実施した。
- (3) 平成30年6～8月に、区代表者会議で「区が中古車を購入する」ことを提案し、各方面から様々な意見や要望が出た。
- (4) 平成30年12月、再検討内容を代表者会議に提案し、賛成23・反対4で承認された。
- (5) 平成31年2月役場関係部門が「静岡陸運局」に「パサディナ方式」が「白タク」にならないことを確認いただいた。

「立上げ経緯」(2)

- (6) 平成31年3月、1年間検討した内容「中古車リース契約」を区総会で提案し、賛成多数で承認されたが、安全優先の意見が多く出た。
- (7) 平成31年4月、函南町への地縁団体認可申請が承認されて、当区が不動産（自動車）を所有又は借用できることになった。
- (8) 平成31年4月、安全優先のため「最新の安全運転システム」を装備した「新車リース契約」に変更し、区代表者会議に報告した。
- (9) 令和元年5月、ホンダ社とリース契約を締結。
- (10) 令和元年8月、「パサディナ号」運行開始。

乗る人、運転する人、調整する人・全て住民

「運行の内容」(1)

☀ 基本コース

利用者宅→(三島総合病院)→(山口医院)→(函南駅)→上沢公民館
→文化センター→大場駅→あおき→マックスバリュ→ビッグデー
→キミサワ→役場→利用者宅



☀ 運行日

毎週： 火曜日・金曜日
毎月： 6日・16日・26日

☀ 運行時間

9時・10時・11時・13時

但し、対応可能な場合は利用者の希望日時にも運行する。

「運行の内容」(2)

☀ 運営資金

- (1) 区一般会計繰入金
- (2) 函南町補助金
- (3) ガソリン利用者負担金
- (4) 任意謝礼金
- (5) 寄付金
- (6) バザー収益金

☀ 支援ボランティア

- | | |
|----------------|----|
| (1) 運転ボランティア | 8名 |
| (2) 予約受付ボランティア | 2名 |
| (3) 会計ボランティア | 2名 |
| (4) 応援ボランティア | 7名 |

「今後の課題」

- ❁ 運転ボランティアの増員
現在8名 → 10名
- ❁ 車両リース期間終了後の見直し
リース契約期間：令和元年8月～令和6年8月
- ❁ 函南町公共交通手段への合流
デマンドタクシー制度など

④行政による移動支援「くわ里号」・「ぬたタク」



* 2021年12月22日函南町・函南町社協主催「これからの暮らし方と移動方法について考えるフォーラム」函南町厚生部福祉課資料より

地域の支えあい勉強会（SC事業）

自分の地域について改めて考えてみる機会

- × 住民として体感している **地域性**
元々公共交通機関が通っていない山間地

移動支援の方法を選ぶポイント

福祉課

社会福祉協議会

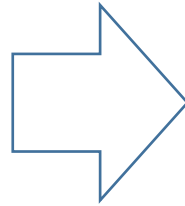
1. 利用しやすいしくみか
2. 運営するのはどこか
3. 費用
4. 道路運送法に適合した方法か

コロナ

移動支援の方法は何を選ぶか？

<区の皆さんの心配>

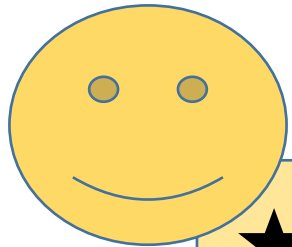
人口が少ない、道が狭い、
山間部で家が離れている



- 運転ボランティアでは
リスクが大きい、担い手不足
- バスが通らない



- ★タクシーなら対応可能
 - ・狭い道・少人数 OK
 - ・停留所はつくらず、自宅から
- ★交通空白地域



民間企業等の協力

県タクシー協会
送迎システムの開発会社
自動車販売会社

桑原区・奴田場区は交通空白地

- ・ 町が主体となって、試験運行を実施
- ・ バスや電車（公共交通）を活かすため、**函南駅**を連結点に。



主な関係機関

- 奴田場区・桑原区の皆様、役員様、民生委員様
- 特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク
- 国土交通省中部運輸局静岡運支局
- 静岡県タクシー協会
- 企業の皆様
- ◎ 社会福祉協議会
役場 函南町地域公共交通網形成計画、地域公共交通会議

令和3年度 試験運行するための準備

法律・制度

<運輸局に相談>

- 道路運送法の実証運行について確認
- 函南町地域公共交通会議で説明

費用

- 介護保険の介護予防事業として実施
～社会参加は介護予防に効果的～
- 利用料は自己負担

利用してくれるか？

<区の民生委員の協力>

- 利用希望の高齢者、利用してほしい高齢者の人数
自宅の場所、利用目的、頻度、料金等の希望を調査

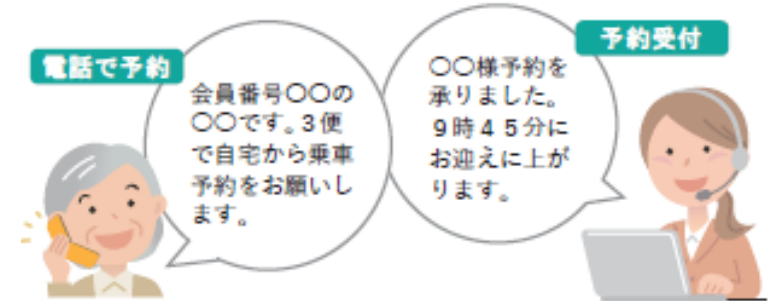
福祉課

社会福祉協議会

区の皆様、民生委員さん

くわ里号・ぬたタクの利用方法

- 1 福祉課に利用者会員登録申請をして
会員証をもらう
- 2 時刻表を見て利用の便の1時間前までに
専用電話に予約
「会員番号の〇〇です。3便で自宅から乗車予約します」
- 3 くわ里号が自宅に来て函南駅・山口医院へ
- 4 利用料300円をタクシー運転手に支払う



くわ里号・ぬたタクの利用上の注意

※下線・取消線の部分：

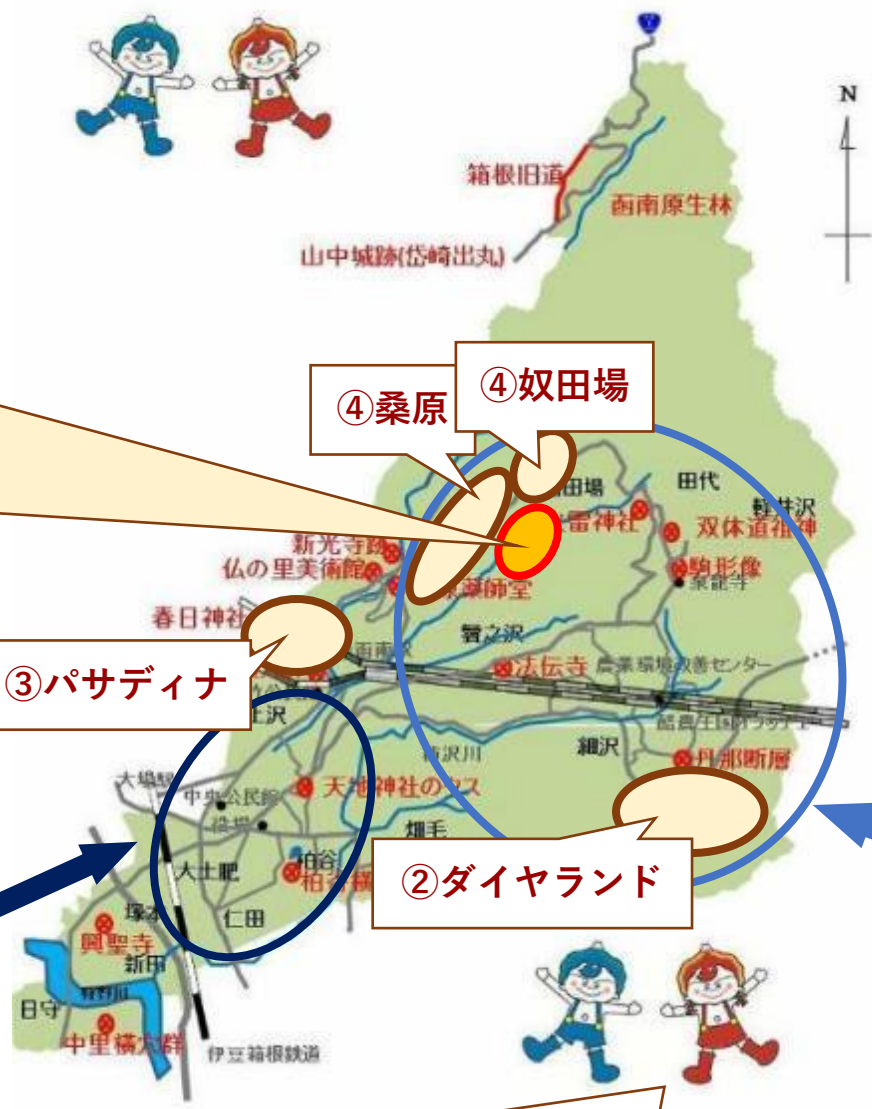
令和4年度試験運行に向け、住民との協議により修正予定

- ・ ~~土日・祝日、12月29日から1月3日は運行しません~~
- ・ 帰りは乗りたい便の1時間前 → 30分前に電話予約
- ・ 乗車時に会員証を見せる
- ・ 決まった時刻と特定の乗降場所
(自宅と函南駅・山口医院)のルートを1日往復 各10便運行
- ・ 5分経過し、連絡がつかない場合はキャンセル料が発生
- ・ 料金は、現金か高齢者タクシー利用券、高齢者運転免許自主返納支援利用券で支払い可
- ・ 利用者1人に付添1人各300円、利用者2人以上相乗りは1人200円

私が乗るなら？
土日も
欲しいわね



さらに函南町をよく見ると…



④デマンドタクシー対象地区の
近くにある公営住宅
「冷川 (ひえかわ) 団地」
2022.6.1現在 31世帯44人
高齢化率54.5% (24人)

全体の人口
37,165人
高齢化率32.22%
(2022年5月末)

人口が集中するエリア
(約30,000人) **約80%**

別荘地を含む
山間地エリア
(約3,000人)
約9%





ふだんの冷川団地

函南駅からは約1 km、ただし登りの山道。
団地内の高低差も見ての通り。
さて、買い物後に徒歩で、荷物を持って
帰れるでしょうか？

地域課題の解決方法は、いろいろ必要…



「ここの人たち
買い物に困ってる人、多いんだよな」

そもそも
人口が少ない

単独で移動支援の
しくみは成立しない

経費の負担が
難しい世帯も多い



- 移動支援がなじまない地域もある…
- 行くのが大変なら、来てもらおう！と、移動販売を紹介はしたけれど結局立ち消えた過去…

タイミング

そもそもコロナ禍真っ最中
何事も密にならない仕掛けが必要な状況



住民の意識も変わってきているところで
改めて移動販売を見直してみたら…??

以前導入した際に継続できなかった理由

利用する住民がいないと、採算がとれないから

この地域には
キーパーソンがいる！

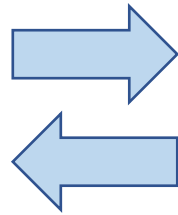
赤い羽根助成金で
経費の補填ができる！

かなみお買い物サポート (令和2年度～)

新型コロナウイルスへの感染対策である「新しい生活様式」を意識した方法として
“自宅の近くで、密集しない状況”でのお買い物：移動販売を活用した取り組み



移動販売に取り組む事業者 (今回の場合はコンビニ) に対する ガソリン 代助成事業





地域のキーパーソン



地域に根付くための配慮と その後の団地

「ポスターはここに貼ればみんなが見るよ」
「チラシはおれが持って行って
説明するから預かるよ」



「“ローソンがきたよ、買い物行く？”
そんな声かけが日常に。
地域の見守りツールとして機能して
きたね。」



地域で自分らしく暮らすには？

～これからの暮らし方は、自分で考えていこう～

個人への支援の必要性

福祉有償運送

ダイヤモンド暮らしの応援隊

パサディナ号



移動すること、が
目的ではなく
何をしたいから
移動が必要なのか

一つの方法で暮らしを
支えるのではなく
移動もいろいろな方法を
組み合わせる視点

地域に・個人に適した
移動はなにか

かなみおでかけサポート

デマンドタクシー
くわ里号・ぬたタク

電車



タクシー

路線バス



移動販売

みんなで守り育てる

今日も
検温・消毒・換気…
コロナ対策は
念には念を！

マスクの下は
笑顔いっぱい！
コロナにまけず
行ってきます！

かななみ
おてかけサポート



移動支援
ボランティア

ご清聴ありがとうございました